

平成29年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.43

H29. 6. 1 「ユジノ・サハリンスク市青少年音楽団」

旭川市の友好都市提携50周年記念ユジノ・サハリンスク市青少年音楽団と本校吹奏楽局が放課後の時間帯を使い「交流会」を開きました。この音楽団は、市の記念事業の一環として、6月3日（土）に開催される北海道音楽大行進に参加するため来旭しました。



もちろん初対面ではありますが、互いの曲を披露し合い、その後同じパートが一緒になって練習、最後は同一曲をみんなで演奏するなど、音楽を通して素晴らしい交流をさせていただきました。

前月でも記述しましたが、本校では「国際交流・国際理解」を推進しています。生徒が世界に視野を拡げ、様々な文化や風習を理解していくことにより、物事に対する考え方がより深まっていきます。吹奏楽局の皆さんは、また一つ貴重な経験をしました。これからの未来を築いていく両国の若人の表情が実に輝いて見えます。



All for one, and one for all. No.44

*エイリョウ・アラカルト 「6月は花がきれい！」

各クラスの保健委員の皆さんが中心となって「花壇」を作ってくれました。沢山のプランターに色とりどりの花を丁寧に植え込みながら、職員玄関付近と校舎前を飾ってくれました。委員としての仕事の一環なのかもしれませんが、こうした作業を通して常にきれいな教育環境を維持していくことは実に大切なことです。

学校を使用する側は、なかなか気づかないことですが、常にきれいにしてくれている関係者の気持ちになって行動して欲しいと思います。

そう言えば、朝は吹奏楽局の皆さんが階段や廊下を掃除してくれています。本当に有り難いことです。



All for one, and one for all. No.45

H29. 6. 3 「北海道音楽大行進」



肌寒い中にも熱気を感じる「第85回北海道音楽大行進」がリベライン旭川パークでの開会식을皮切りに盛大に開催され、緑橋通りを中心に心弾むマーチングが響き渡りました。

本校吹奏楽局も総勢84名が参加、沿道の観衆を沸かせました。昨年、大雨のため中止になっていただけに、生徒

の意気込みも例年以上であり、グラウンドで行った練習にも気合いが入っていました。

特に今年は「北海道警察音楽隊」とともに開会式での演奏も任せられ、特別に披露した「レ・ミゼラブル」の演舞は、集まった観衆のみならず、他校の吹奏楽の皆さんの度肝をも抜いたことでしょう。



また、前日に交流を深めた「ユジノ・サハリンスク市青少年音楽団」も元気に行進していました。

All for one, and one for all. No.46

H29. 6. 7 「第1回 校内研修」

6日から始まった中間考査期間中の午後の時間帯を活用し、全教員が集い、喫緊の課題に対して理解を深めました。今回の研修テーマは、「特別支援」と「アクティブ・ラーニング」の二本立てです。

「特別支援」に係る内容は専門性が高いことから、日頃スクール・カウンセラーでお世話になっている臨床心理士 松田 剛 氏に講師をお願いし、特別支援に係る正しい認識や適切な対応について理解を深めました。

「アクティブ・ラーニング」では、今年度より設置した推進委員会が研究の成果を職員に還元、「授業改善」に向けた指針を示してくれました。

教育課題に対し真摯に対峙し、確実に歩を進めようとする教諭の姿を頼もしく感じています。今後も教育のクオリティを高めるべく最善を尽くしてまいります。

All for one, and one for all. No.47

H29. 6. 8 「高体連全道壮行会」

今年度は「8種目総勢58名」の選手が全道への切符を手にししました。壮行会では吹奏楽局の演奏によって選手団が入場、生徒会長からの激励に続いて、各部からの決意表明がありました。



毎日熱心に練習に励んでいる姿を目の当たりにしているだけに、全道大会でもその成果を存分に発揮し、大いに活躍してくれるものと期待しています。同時に、学校の代表であり、地区の代表であることを忘れず、惜しくも全道への出場を逃した選手や他の学校の分まで頑張ってもらいたいと思います。

また、部活動は「人間形成」の場でもあります。勝敗も大切ですが、生活面でもマナー面でも「永嶺生はしっかりしている」と周囲から言われる全道大会であって欲しいと願っています。

【全道開催地】

- | | |
|--------------|------------------|
| ■ 陸上部（旭川市） | ■ バスケットボール部（函館市） |
| ■ 卓球部（札幌市） | ■ 剣道部（岩見沢市） |
| ■ 弓道部（札幌市） | ■ テニス部（北見市） |
| ■ 水泳同好会（函館市） | ■ 空手（札幌市） |



H29. 6. 8 「南永山駅清掃ボランティア」

恒例の駅舎清掃の季節がやってきました。「南永山駅」は本校の多くの生徒が利用する駅です。日頃の感謝の気持ちを込め、40名以上のボランティアスタッフが、ほうき、バケツ、雑巾を持参し参加してくれました。駅舎周辺や駅舎内のゴミ拾い、壁やガラス拭きなどを分担して行いました。

公共施設を大切する心や美化意識を高めることは、子どもたちだけでなく大人にとっても大切なことです。地域への愛着は郷土愛につながり、いずれは旭川市民の誇りにもなります。毎日生活している場所だからこそ、大切に守っていかなければなりません。こうした行動の輪を地域全体に拡げていきたいものです。



H29. 6. 9 「永嶺ウォーク」

今年度より新たな行事「永嶺ウォーク」をスタートさせました。新設校のビジョンに合わせた行事精選の中で誕生した行事です。

「強歩大会」
+
「遠足」 } 「永嶺ウォーク」

【目的】①体力向上と健康の維持増進
②自然と親しむ中での豊かな情操の育成
③公共心の醸成と美化意識の啓発

行き先は各年次（学年）によって異なり、1年次が「旭山動物園」、2年次が「カムイの杜公園」、3学年が「神楽岡公園」に分かれての実施となります。各々が結構な距離を歩き、昼食（含炊事）を取りながら年次（学年）間の親睦を図り、最後は周辺の美化活動をして帰ってくるというものです。

やや風はあるものの快晴に恵まれ、自然の中を歩きながら、友との親睦を深め合うことができたことと思います。



H29. 6.12 「異校種間連携」

本校は、東川養護学校さんと旭川養護学校さんの2校と毎年交流を持たせていただいています。両校が互いの学校を訪問し、様々な交流を通して、互いに理解し合い、互いに尊重し合う関係を築いています。

今回は東川養護学校さんを訪問し、学校の紹介や外での共同作業、談話などを通して、楽しく充実した交流の時間を過ごさせていただきました。東川養護学校の生徒の皆さん、職員の皆さん、本当に有り難うございました。次回もよろしくお願いします。



All for one, and one for all. No.51

H29. 6.12 「教育実習」

今日から3週間にわたり、本校の卒業生6名が教育実習生として実践を積みます。講話の中で一緒にお話をさせていただく機会がありましたが、皆さん大変前向きで好感のもてる先生ばかりです。考え方も感じ方も実にしっかりしていて感心しました。

「教育」は単に知っている知識を伝えるだけでなく、生徒が社会に飛び立つにあたり、自分の足で逞しく歩んでいける力を育まなければなりません。教育実習生の皆さんは、生徒との年齢も近く、現状をあらゆる意味で理解し合える存在であります。それだけに物事の功罪を、的確に、かつわかりやすく伝える力を持っています。

先輩の先生方から大切なものを沢山吸収して欲しいという思いとともに、実習生の皆さんにしかできないことを思い切ってやり通して欲しいという願いがあります。

昼食時もプリントに目を通す実習生の皆さんの真摯な姿がとても微笑ましく感じられました。生涯忘れられない有意義な実習になるよう陰ながら応援していますよ！



All for one, and one for all. No.52

H29. 6.16 「3学年保健講演会」

部活動の各種大会も一段落終え、いよいよ受験モードに突入した3年生。様々なプレッシャーから、思うように事が進まない際、落ち着かずストレスを感じることも時にはあるでしょう。そんな時、上手に自分をコントロールし、受験対策に力を十分に発揮できる対処法を理解することが、この講演のねらいです。



本校のスクールカウンセラーでもあります 臨床心理士 松田 剛氏に講師をお願いし、「ストレスと上手に向き合うための秘訣」についてお話しいただきました。

ストレス対策は高校生に限ったことではありません。社会に出てからも誰もが経験するものです。いつ何時でも最高のパフォーマンスができるよう、望ましいストレス対処法をしっかり身につけておきましょう。

H29. 6.23 「広報担当者の集い」

各校で発行している「PTAだより」！ それぞれに特色が生かされ、作成している保護者の皆さんの温かな思いが伝わってきます。内容、レイアウト、取材、原稿依頼等、大変な労力をかけていらっしゃることに推察します。

その一助になればと、旭川西高の滝沢先生に無理をお願いし、作成の秘訣を伝授していただくための「魅せるPTA広報誌～レイアウト、見出しの作り方」を開催しました。

最初にグループに分かれ、各校の広報誌の参考となる箇所について意見交換をしました。どの広報誌も大作揃いです。そこに、滝沢先生登場！「ひと味加えるとこう変わります。」のアドバイスに、参加者からは「なるほど！」の声。さすが、新聞づくりの大家だけあって、ポイントの押さえ方が違います。

最後は、みんなで記事を読み、そのタイトルづけに挑戦してみました。一目で記事の内容がわかるタイトルづけは難題ですが、みんなで考える楽しさを体験できたことは何よりの収穫です。次回の各校の「PTAだより」はひと味違う出来映えになること間違いなしです。



H29. 6.24 「PTA研修」

今年の永嶺高校PTA研修は、「日本製紙」と「男山酒造」の2カ所の見学ツアーです。早朝は怪しい雲行きでしたが、雨に遭うこともなく清々しい気温のもと、20名程の保護者の皆様と和気藹々と研修を楽しんできました。



*研修場所から研修場所へは全てバスで移動しました。

「紙遊館」で館長さんのユニークな講義&トークを伺い、工場内を見学しました。

記念にいただいた「絵はがき」は、旭山動物園のキリンの糞からできています！

特に日本製紙工場内は旭川に居ながら一度も入ったことがなく、紙の製造過程の複雑さに、その貴重さを改めて知る大変良い機会となりました。男山酒造では、静かな庭園や古き倉の佇まいに重厚な歴史が感じられました。

「紙」と「酒」、作っているものは違いますが、共通して言えることは先人の叡智と偉大さです。見聞を拓げることは、私たちにいろんな事を気づかせてくれます。



企画・運営にあたってくれた研修委員の皆様、本当にお疲れ様でした。



＊歴史を感じさせる建造物が建ち並ぶ庭園を一巡りした後、資料館を見学しました。

All for one, and one for all. No.55

H29. 6. 28 「夏の熱い闘い」



野球の夏の支部予選が27日から始まりました。大会2日目、運命のいたずらか、本校の前身でもある旭川東栄高校さんとの対戦となりました。

全校応援の中、4回まで両校ともランナーを出しながら、もう一本が出ません。両ピッチャーの粘り強い投球、そして随所に見られる好プレーが、試合を引き締めていました。

試合が動いたのは5回、東栄高校さんが2アウトから見事な連打で1点を先取。その裏、本校もランナーをためて逆転。高校生の試合はいつどうなるかわかりません。



結果的に勝ちましたが、点差ほどではない緊迫した試合展開、ちょっとした流れでどちらに転んでもおかしくない程に力は拮抗していました。

応援合戦も両校とも一糸乱れぬ素晴らしい内容でした。

両校の選手の皆さん、そして両校の応援の皆さんから、実に清々しい沢山の感動をいただきました。

